

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【公表番号】特表2012-524292(P2012-524292A)

【公表日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2012-041

【出願番号】特願2012-505230(P2012-505230)

【国際特許分類】

G 03 C 1/00 (2006.01)

【F I】

G 03 C 1/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月19日(2013.4.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の層とその第1の層の上に設けられた第2および第3の層とを含む媒体であって、前記第1の層は、第1の周波数の電磁放射に反応して可視的な変化を示し、

前記第2の層は、第2の周波数の電磁放射に反応して、該第2の層が第1の周波数の電磁放射に対し実質的に透明である第1の状態から、該第2の層が第1の周波数の電磁放射に対し実質的に不透明である第2の状態に変化し、

前記第3の層は第1の周波数の光が前記第1の層に作用することを阻止すべく選択的にアレンジされる、媒体。

【請求項2】

前記第3の層は、第3の周波数の電磁放射に反応して、該第3の層が第1の周波数の電磁放射に対し実質的に不透明である第1の状態から、該第3の層が第1の周波数の電磁放射に対し実質的に透明である第2の状態に変化する、請求項1に記載の媒体。

【請求項3】

前記第2の層は前記第3の層と前記第1の層との間に配置され、前記第3の層は第3の周波数に応じて第2の周波数に対し実質的に透明になるようにアレンジされる、請求項2に記載の媒体。

【請求項4】

前記第1の状態から前記第2の状態への前記第3の層の変化は不可逆的である、請求項2又は3に記載の媒体。

【請求項5】

前記第1及び/又は第2の層のそれぞれの前記第1の状態から前記第2の状態への変化は不可逆的である、請求項1乃至4のいずれかに記載の媒体。

【請求項6】

前記第3の層を覆うレンチキュラー層を含む、請求項1乃至5のいずれかに記載の媒体。

【請求項7】

前記第3の層は、前記第1の周波数の電磁放射が前記第1の層に作用することを可能にすることにより取り外しできる、請求項1に記載の媒体。

【請求項8】

請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の媒体に可視画像を書き込む方法であって、前記第 1 の層に可視画像を生成するために前記第 1 の層を第 1 の周波数の電磁放射に露出することを含む、請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 9】

続いて、前記第 2 の層が第 1 の周波数の電磁放射に対し実質的に不透明となるように該第 2 の層を第 2 の電磁放射に露出することを更に含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

請求項 2 又は 3 に従属するとき、前記第 1 の層を第 1 の周波数の電磁放射に露出するステップの前に、前記第 3 の層が第 1 の周波数の電磁放射に対し実質的に透明になるように該第 3 の層を第 3 の電磁放射に露出することを更に含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記第 1 の層を第 1 の周波数の電磁放射に露出する前記ステップは、前記第 1 の層に可視画像を作製するように第 1 の周波数の電磁放射の空間分布及び / 又は強度を制御することを含む、請求項 8 乃至 10 のいずれかに記載の方法。

【請求項 12】

前記空間分布は空間可変シャッタによって制御される、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記空間分布は光学画像化装置によって制御される、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

前記空間分布は、媒体に対し第 1 の周波数の電磁放射のビームを走査することによって制御される、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 15】

請求項 8 乃至 14 にいずれかに記載の方法を行うようにアレンジされた装置。